

安全を見守る

注意

特定外来生物

セアカゴケグモに注意！

今年9月3日、福岡市内の女性が、特定外来生物に指定されている毒グモ「セアカゴケグモ」に咬まれる事件が起きました。



▲ セアカゴケグモ（メス）

福岡県では、「セアカゴケグモ」は平成19年に福岡市内で初めて発見され、その後においても、同市内では継続的に発見され、その他一部の地域でも発見されております。

セアカゴケグモは、基本的に攻撃的ではありませんが、素手で捕まえたり、巣に触れたりすると咬まれることがありますので、注意してください。

また、今回は発見されておりませんが、同じゴケグモ類であるハイイロゴケグモについても、過去に県内で発見されており、同様に危険ですので注意してください。

セアカゴケグモの見分け方

メスの体長は、約0.7cm～1cmで全体が黒色で腹部の背面と腹面に赤色の模様があります。オスの体長は、約0.4cm～0.5cmで腹部の背面は灰白色をしています。

咬まれないための注意

- 絶対に素手で触らないこと。
- 衣服の上から咬まれる可能性は低いので、野外で作業する場合は、長袖、長ズボン、手袋等を着用する。
- 洗濯物の取り入れなどでサンダル等を履くときに咬まれる事故が発生しています。野外に置きっぱなしのサンダル等を履く場合は注意をしてください。

咬まれたときの対処法

咬まれたときは、針で刺されたような痛みを感じます。やがて咬まれた部分の周りが腫れて赤くなります。悪化すると痛み、発汗、発熱、発疹などが現れることがありますので、温水や石けん水で傷口を洗い、医療機関で受診してください。より適切な治療の受診のため、できるだけ殺虫剤等で殺したクモを持参してください。

注意

秋が最も危険です！

スズメバチに注意！



ご存じですか？ 実はハチに刺されて死亡する件数は、マムシなどの毒ヘビによる死亡件数を上回っています。

1匹のスズメバチに刺されても急性アレルギー反応によるショック死をすることがあります。

スズメバチは、私たちの身近に生息する生き物の中で、最も危険な生き物です。

敷地内の庭木の中、床下などに営巣します。発見した場合は、危険ですので個人で対応せずすぐに保険環境課までご連絡ください。

本町ではスズメバチの駆除にかかる費用を一部補助しています。補助金の交付額は、駆除1件当たり駆除に要した費用とし、1万円を限度としています。詳しくはお問い合わせください。

【警戒】 巣から10メートル以内に近寄ると周囲を飛び回って警戒します。

【威嚇】 いかく さらに近づくと顎をかみ合わせて「カチカチ」と威嚇音を発します。この場合、すぐにその場から離れてください。

【行動】 スズメバチは「黒色」を攻撃する性質があるので、頭を守るため、白色系の帽子があると良いでしょう。また、香水やヘアスプレーをしての野外活動は控えましょう。

【注意】 スズメバチに刺されてから数分後に異常（腫脹、じん麻疹、めまいなど）を感じたときは、すぐに医療機関で診てもらいましょう。呼吸困難や意識不明などの場合は、一刻を争いますので119番に連絡しましょう。

問合先 保険環境課 生活環境係 ☎65・1097